



まちの話題

鏡を見て心の乱れに 気付いてもらえたら

大鏡の寄贈

3月27日(木)、光市更生保護女性会(榊野文子会長)は市内の中学校5校に大鏡を寄贈、島田中学校でその設置式が催されました。



榊野会長は「非行の始まりは服装の乱れから。生徒の皆さんが大鏡を見た時に、心の乱れが服装に表れてないか確認してもらえれば嬉しい」と話されました。



アンコウの つるし切りに挑戦

お魚料理教室

3月12日(木)、あいばく光で、魚食普及を推進している「蒼き光の海生活学校」(梅村恒子代表)主催による「お魚料理教室」が開催されました。

今回は、アンコウのつるし切りに挑戦。つるし切りは、下あごを引っ掛けてつるされたアンコウの口の部分から皮をはぎ、エラなどを落とし、肝や身を切り分けていくという独特のさばき方。切り身ではないアンコウを調理できる機会は珍しく、参加した皆さんは、この機会にと、つるされたアンコウを講師の手ほどきを受けながら慎重にさばいていきました。見事にさばかれたアンコウは、鍋や刺身風など、アンコウのおいしさが存分に味わえる料理へと姿を変えていきました。

子どもの安全を見守りたい

室積公民館で

安心安全のまちづくり集会

4月11日(金)、室積公民館で「安心安全のまちづくり集会」が開催され、約100人が参加しました。

集会では、警察署生活安全課から防犯事例の説明を聞き、その後、児童の通学路での危険個所の確認や登下校の時間帯などについて話し合いました。

市では平成16年度から、各小学校で防犯ブザーを児童に支給し、児童は不審者に注意し、身の危険を感じた場合は警報を鳴らすよう呼び掛けています。

加えて、地域の人々が子どもたちを見守る防犯体制を整えることは、児童にとつて何よりも心強い事です。



旬を獲る

初夏のコウイカ漁

初夏が近づき、市内の鮮魚コーナーに光・室積産と表示されたコウイカが始めました。漁業者のひとり浜本朝秋さんの漁法はかご漁。イカの習性をうまく利用した漁法です。戸仲漁港から20分ほど船を走らせた沖合いに木の枝をくくりつけた先細の入口をもつ直径1メートルほどの網かごをいくつも沈めてイカが入るのを待ちます。引き上げたかごには肉厚のうまさうなコウイカがいっぱい。

生でもよし、焼いてもいためてもよしの、初夏の産地直送、光の海からの恵み。旬の味を思う存分楽しんでください。

